

### Lesson30

※L10 「名詞 N1 に 名詞N2 が あります」

あります→ 存在動詞。如果僅只敘述場所所有某物、或某物在某場所、而不涉及導致該物「存在」的動作的說明時用下列之句形表達。

① 場所（名詞 1）に物（名詞 2）が ある／いる

例)

→ <sup>きょうしつ</sup>教室に<sup>いす</sup>椅子があります。

→ <sup>きょうしつ</sup>教室に<sup>がくせい</sup>学生がいます。

② 物（名詞 2）は 場所（名詞 1）に ある／いる

例)

→ <sup>いす</sup>椅子は<sup>きょうしつ</sup>教室にあります。

→ <sup>がくせい</sup>学生は<sup>きょうしつ</sup>教室にいます。

※ 説話人實際地描写眼前狀態、表某物或某狀態「存在」於場所、使用「自動詞」的句形。

① 場所 に 物 が 自動詞-て いる

例)

→ <sup>へや</sup>部屋に<sup>みず</sup>水が<sup>はい</sup>入っています。

→ <sup>きょうしつ</sup>教室に<sup>いす</sup>椅子が<sup>なら</sup>並んでいます。

② 物 が→は 場所 に 自動詞-て いる

例)

→ <sup>みず</sup>水が<sup>きょうしつ</sup>教室に<sup>はい</sup>入っています。

→ <sup>いす</sup>椅子が<sup>きょうしつ</sup>教室に<sup>なら</sup>並んでいます。

※ 若要說明某物或某狀態由於某一人為的動作之影響而「存在」時、使用「他動詞」

① 場所 に 物 が 他動詞-て あります

例)

→ 教<sup>きょう</sup>室<sup>しつ</sup>にいすが並<sup>なら</sup>べてあります。

→ 黒板（こくばん）に字<sup>じ</sup>が書<sup>か</sup>いてあります。

→ 机<sup>つくえ</sup>の<sup>う</sup>上<sup>え</sup>に本<sup>ほん</sup>が置<sup>お</sup>いてあります。

→ 壁（かべ）に絵<sup>え</sup>が掛<sup>か</sup>けてあります。

→ 庭<sup>にわ</sup>に木<sup>き</sup>が植<sup>う</sup>えてあります。

② 物 は 場所 に 他動詞-て あります

（把「物」作為主題加以提示）

例)

→ 椅子<sup>いす</sup>は 教<sup>きょう</sup>室<sup>しつ</sup>に並<sup>なら</sup>べてあります。

※ 某狀態因某種人為的動作而存在着

主体 が V-て + あります

例)

→ ドア が 開<sup>あ</sup>けて あります。

→ まど が 閉<sup>し</sup>めて あります。

→ 電<sup>でん</sup>氣 が つけ<sup>き</sup>て あります。

→ A: すみません。ドライバーはどこですか。

B: ドライバーはその引<sup>び</sup>き出<sup>だ</sup>しの中<sup>なか</sup>にしまっ<sup>て</sup>てあります。

※ 「～て います」 和 「～て あります」 的區別  
例)

①→A:セロテープはどこですか。

B:セロテープはかばんに<sup>はい</sup>入っています。(さき見ました)

※強調某人 (or 自己) 之前放進的

②→A:セロテープはどこですか。

B:セロテープはかばんに<sup>い</sup>入れてあります。(きのう入れました)

※表針對某件事情而預先進行準備動作

→用於「～て います」的動詞幾乎是自動詞。  
而「～て あります」的則是他動詞。

※ V-て + おきます。

例)

→<sup>ともだち</sup>友 達<sup>く</sup>が<sup>まえ</sup>来る 前<sup>に</sup>、<sup>へや</sup>部屋<sup>そうじ</sup>を掃除しておきます。

→<sup>しけん</sup>試験<sup>まえ</sup>の前<sup>ひ</sup>の<sup>ひ</sup>日に<sup>なら</sup>習 った<sup>ところ</sup>をもう一度よく<sup>べんきょう</sup>勉 強 しておきます。

→<sup>りょこう</sup>旅 行<sup>い</sup>に行く 前<sup>まえ</sup>の<sup>ばん</sup>晩<sup>したぎ</sup>に<sup>い</sup>下着<sup>を</sup>をかばんの中に入れておきます。

→<sup>きょうしつ</sup>教 室<sup>はい</sup>に入る 前<sup>まえ</sup>に<sup>えんぴつ</sup>鉛 筆<sup>けず</sup>を削 っておきます。

① 準備下次使用而完成必要的動作  
例)

→はさみを<sup>つか</sup>使 ったら、<sup>もと</sup>元<sup>ところ</sup>の 所 にしまっておいてください。

→<sup>じしょ</sup>辞書<sup>つか</sup>を 使 ったら、<sup>ほんだな</sup>本 棚 に<sup>もど</sup>戻 (もど) しておいてください。

② 讓某結果狀態持續下去  
例)

→この<sup>さかな</sup>魚 をそのまま<sup>れいぞうこ</sup>冷 蔵 庫<sup>なか</sup>の中に入れておいてください。

→窓<sup>まど</sup>を<sup>し</sup>閉めないでそのまま<sup>ひら</sup>開けておいてください。

→寒<sup>さむ</sup>いですから、窓<sup>まど</sup>を<sup>し</sup>閉めておいてください。

→お<sup>かね</sup>金を金庫（きんこ）にしまっておいてください。

在口語中常把「 ～ て おきます 」

→ 「 ～（て+お→）と きます」

例)

そこに<sup>お</sup>置いておいてください。

→そこに<sup>お</sup>置いといてください。